

介護職員等処遇改善加算に係る職場環境等要件

特定非営利活動法人ハートフルボイス
処遇改善に関する具体的取組（実績反映版）

1. 入職促進に向けた取組

当法人では「人に寄り添い、地域を住み良くする」という理念のもと、多様な人材の受入れを行っている。就労支援、生活介護、共同生活援助、居宅介護、相談支援等の多機能な事業運営を行い、未経験者や他業種からの転職者、外国人材等も含めた幅広い人材の確保・定着に取り組んでいる。また、地域との関係性を活かし、見学や体験機会を通じて福祉の魅力発信を行っている。

2. 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

当法人では、働きながら資格取得ができる環境整備を進めている。実務者研修については、業務時間内で受講できる体制を整え、過去4年間で30名が資格取得している。また、介護福祉士、社会福祉士等の国家資格取得に向けて、法人内で模擬試験や学習支援を実施し、職員の専門性向上を図っている。さらに、25の委員会活動や事業所間連携を通じて、現場での実践を基盤とした学び合いの仕組みを構築している。

3. 両立支援・多様な働き方の推進

職員の生活状況に応じた柔軟な勤務体制を整備し、子育てや介護、通院等との両立を支援している。勤務シフトの調整や有給休暇の取得促進を行い、働きやすい職場環境づくりに努めている。また、外国人職員の育成にも力を入れており、毎週2時間の日本語学習会を実施し、本年度は日本語能力試験N3において全員合格という成果を上げている。

4. 腰痛を含む心身の健康管理

職員の健康管理については、厚生労働省基準に基づくストレスチェックを実施している。さらに、外部の臨床心理士を配置し、職員が相談できるカウンセリング体制を整備している。日々の業務においても、相談しやすい環境づくりを行い、メンタルヘルス不調の予防と早期対応に取り組んでいる。

5. 生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組

ICT（Kintone、OneDrive等）を活用し、記録、情報共有、勤怠管理等の業務効率化を進めている。業務の見える化と役割分担の明確化により、職員が利用者支援に集中できる環境を整備している。また、送迎ルートの見直しや事業所間連携により、法人全体で継続的な業務改善を行っている。

6. やりがい・働きがいの醸成

利用者約150名の地域生活を支える中で、支援の成果や利用者の変化を職員間で共有し、仕事の意義を実感できる環境づくりを行っている。また、地域清掃活動や交流活動等を継続し、地域とのつながりの中で支援の価値を実感できる機会を設けている。